

特別支援学級 国語科学習指導案

児童 男子2名 女子1名 計3名

1 単元名 とんぼはかせになろう

教材名 「あきあかねの一生」 さとうゆうこう (光村ライブラリー 5巻)

2 単元設定の理由

(1) 児童について

たんぼぼ学級は、4年児童1名(自閉症・知的障がい)、5年児童2名(知的障がい)である。4年児は、入学当初から、5年児1名は4年生から、5年児1名は2年生から特別支援学級に在籍している。4年児は、多動傾向もあり、自分の思い通りにならないと大声を上げることがある。5年児1名は、自己否定感が強く、少し困難な課題にであうと投げ出す傾向がある。4月の学級編成で5年児2名がたんぼぼ学級で学習するようになり、小集団での学習ができるようになってきた。3名は、社会、理科、音楽、体育の交流学习に参加している。

これまで、詩やことわざ、俳句などの音読に取り組み、暗唱できるようになり、本校の職員の前で発表するなど、意欲的に取り組んできた。また、詩の学習では、動作化したり、擬音を入れた音読をしたりすることで、イメージを広げ、楽しんで読むことができるようになってきた。

説明文では、「動物園のじゅうい」や『まほうのぬの「ふろしき」』の学習を行った。「動物園のじゅうい」では、時間の順序を示す言葉に着目し、様子とわけを考えながら読む学習を行い、本校職員の仕事についてインタビューする活動を行った。『まほうのぬの「ふろしき」』の学習では、接続語に着目し、事柄の順序に気を付けて読む学習を行った。

(2) 児童の実態

国語科に関する児童の実態	4年	5年	5年
内 容	A児	B児	C児
友達と会話することができる。	◎	◎	◎
簡単な言葉の意味が分かる	◎	◎	◎
簡単な文を読んだり書いたりすることができる。	○	○	○
1・2年の漢字をおよそ書くことができる。	○	◎	◎
黒板を見て文を書くことができる。	○	○	△
静かに話を聞くことができる。	△	○	○
指示や説明を理解することができる。	○	○	○
出来事や自分の考えについて簡単に説明することができる。	△	◎	◎

◎できる ○支援が必要 △難しい

(3) 単元について

本単元は、読む力として、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書をしようとする態度を育てる。」ことをねらいとしている。また、指導事項として、「時間的な順序や事柄の順序などを考えて内容の大体を読むこと」「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと」「楽しんだり、知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと」があげられる。

あきあかねは、全国どこでも見られるとんぼで、児童もよく目にしている昆虫である。本単元では、まず、説明文によって未知のことが解明・発見できる喜びを実感させ、それをきっかけに説明文に興味をもって読もうとする態度を育てたい。

(4) 指導に当たって

本教材では、時間的な順序を表す言葉や主語・述語に気を付けて内容の大体を読み取る力をつけたい。
また、写真・段落の並び替え、動作化などを取り入れ、内容をイメージできるようにしたい。

言語活動として、とんぼクイズを作り、友達や本校職員にクイズを出す活動を通して、相手・目的意識をもたせながら学習意欲を高めていく。

3 単元の目標

○時間の順序や理由付けを表す言葉などに着目し、様子とわけなどを考えながら説明的文章を読むことができる。

○問いや答えの文型に従って、とんぼクイズを作ることができる。

○とんぼクイズを通して、とんぼについて分かったことを伝えることができる。

4 学習指導計画（全10時間）

次	時	学習活動	ねらい
1	1	学校長からの手紙を読み、学習計画を立てる。	とんぼについて興味をもち、教師と一緒に学習計画を立てることができる。
	2	「あきあかねの一生」を読み、段落を並べ替える。	時間を表す言葉や主語に着目して、正しく並べることができる。
	3 (本時)	「あきあかねの一生」を読み、写真を並べ替える。	主語や述語に着目して、あきあかねの一生の内容を読み取ることができる。
	4	あきあかねクイズを作る。	問いや答えの文型にしたがって、とんぼクイズを作ることができる。
2	5	図鑑やインターネットなどでとんぼについて調べる。	とんぼについて、もっと知りたいことや疑問に思ったことについて調べることができる。
	6		
	7	とんぼクイズを作る。	これまでの学習を生かして、とんぼクイズを作ることができる。
3	8	学校長に手紙を書く。	とんぼについて分かったことを伝えることができる。
	9		
	10	友達や職員にクイズをだし、とんぼについて分かったことを紹介する。	

5 本時の指導計画

(1) 目標

○主語や述語に着目して、あきあかねの一生について読み取ることができる。

(2) 個人の目標

児童	個人の目標	個別の指導計画との関連
A	○はきはきと音読することができる。 ○友達の発表を聞いて、主語と述語を指摘することができる。	○「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」をとらえながら読むことができる。 ○友達のお話を静かに聞くことができる。 ○読書に親しむ。
B	○「あきあかねの一生」について、簡単に説明することができる。 ○自分の考えと友達の考えを比べながら聞くこ	○書かれている事柄の順序や様子などに気づきながら読むことができる。 ○自分の考えを発表することができる。

	とができる。	○読書に親しむ。
C	○「あきあかねの一生」について、簡単に説明することができる。 ○自分の考えを発表することができる。	○書かれている事柄の順序や様子などに気づきながら読むことができる。 ○自分の考えを発表することができる。 ○読書に親しむ。

(3) 展開

階	学習活動・学習内容	指導上の留意点 (◇個への支援)
つかむ・見通す 10分	1 詩やことわざなどを音読・暗唱をする。 ○みんなで音読する ○一人で音読する。 2 前時までの学習を振り返る。 ・校長先生からの手紙 ・順序 3 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> あきあかねは、どのように育っていくのでしょうか。 </div> ・段落にあわせて写真を並べ替えることを知る。 4 課題解決の見通しをもつ。 ○全文を音読する。 ○どんな言葉を手がかりにして並べ替えるか、考える。 ・「何が」「どうした」	・口を大きく開けて、明るい声で読むように励ます。 ◇教材文は、分ち書きのものや、漢字に読み仮名を振っているものなども用意し、選んで使用させる。 ・写真に写っているものは何かを確認し、「何が」、「何は」を意識させる。
考える 25分	5 学び合う。 ○写真を並べ替える。 ○並び替えた写真を発表する。 ・写真の順番 ・理由 ○並び替えた写真を見ながら、教師の音読を聞き、写真と文章を対応させる。 ・いつ ・どこで ・なにが ・どうなる ○教師の音読を聞きながら、動作化をする。 ・3段落 ・4段落	・学習シートを使って並べ替える。 ◇一人で考えても、友達と一緒に考えてもよいことにする。 ◇発表できない児童には、友達の考えを聞いて、どう思うか問うようにする。 ・やごやあきあかねの変化をとらえさせる。
まとめる 10分	6 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> ①あきあかねの()が、たまごから()。()とよばれます。 ②()は、何回も何回も皮をぬいで、()。 ③()は、草のくきや葉につかまって、さいごの皮をぬいで、()になります。 ④おとなになったばかりの()は、羽を()。二日目には、えさをさがして()。やがて、すずしい山へ向かって、()。 ⑤秋になると、()は、池や小川に帰り、()後、短い一生を終わります。 </div>	

	<p>○学習シートに書き込む。 ・「何が」 ・「どうした」 7 本時の学習を振り返る。 ○がんばったことや楽しかったことを発表する。</p>	<p>◇がんばったことや楽しかったことを見つ けられない児童は、他の児童から見つけて もらう。</p>
--	---	---

(4) 評 価

○主語や述語に着目して、あきあかねの一生について読み取ることができたか。

6 板書計画

まとめ <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/>	写真1	写真1	教材文 <input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	写真1	写真1	(児童の発言) やごは、 あきあかねは、	学習かだい <input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	あきあかねの一生 さとう ゆうこう
	写真1	写真1			写真1		写真1	
	写真1	写真1			写真1		写真1	